

1208 版全体講評

山口@製図試験 com です。

はじめに 1013 版の合格発表を分析してからの 1208 版採点を行っていたため、大変返却が遅くなりましたこと、また添削を終えるまでは資料送付もできなかったことも重ねてお詫び申し上げます。

■例年とは異なる配点基準

メルマガでも配信していますが 1208 版の採点や配点基準は、平等を期すということから 1013 版と同様だと考えられます。具体的に 1013 版ではアルナシ採点が前提となっており、その上でプランニング(共用部の形状)は観ているが、配置計画、アプローチ計画、動線計画、ゾーニング計画はほぼスルーされている印象です。プランが多少悪くても問題文に問われていることが全部揃っていれば、合格している可能性が非常に高いということです。逆にナイ答案是ランク3と4という合否判定となったと考えられるため、それを元に 1208 版再現図の採点をやり直しました。

■似て非なる 1013 版と 1208 版

1013 版の残像が強い方は 1013 版に引つ張られた答案となっていたと思われます。特に多目的ホールはその多くが 1 階に配置されていますが、バランスを考えると 2 階の方が望ましい配置と考えられます。そういう私も 1 案目は多目的ホール 1 階で計画しました。そうすると 2 階のプランは非常に厳しいものになるように組まれていました。逆に多目的ホールを 2 階でしていたら非常に楽にプランできたはずです。

■丁寧に描き込んでいる答案が高評価

再現図を採点している感覚としては、落ち着いて丁寧に描き込んでいる案の方が高評価となっているように感じています。描き殴った図面やスカスカの図面は合格しにくかった印象です。これは時間配分の問題でもあり、プランがある程度できれば手を離すことができるかどうか大きな別れ道になっているように感じました。

■今後の受験対策

まだ合否結果も出てない段階で今後の受験対策というのもお話しにくいのですが、2020 年度は新制度元年であり必ずしも 2019 年度と同様の合否基準になるとは限りません。ただし採点のプライオリティとして、問題文に記載されている事項を全て守るというのは必須です。対策としては、以下の 5 点

- ① 問題文に書かれていることは全て守る(特に数値と法規と設備)
- ② できる限り丁寧な答案づくりを心がける
- ③ そのための時間管理は非常に重要な試験テクニックとなる
- ④ 当然、動線ゾーニング計画、配置計画は最低限の計画知識なので死守する
- ⑤ ①から④を拾い上げられるようなエスキースを構築する

がポイントになるでしょう。特に①-④を念頭に置いたエスキースの構築が合格への最短距離だと考えられます。これらを念頭にエスキース手法を確立していくことが合格への王道となります。

2020 年 1 月吉日

製図試験 com 代表 山口 達也